

C3 学習の手引き 48 (2-1)

<教本範囲外 Word>

なし

<説明>

1. (第1パラグラフ) **common strategic objectives** : 共通戦略目標。 **common** にはいろいろな意味があるが、この場合は「共通の」の意味で使われている。
objective は「(努力や達成などの) 目標」を意味する。
1. **a peaceful solution to North Korea's....** : **to**に注意。 **solution** は後に**to**がきて「...の解決」となる。同様に **a clue to the mystery**. (そのなぞの手がかり)
1. **the Taiwan Strait** : **strait**より幅の広い海峡が**channel**。海峡には、海、川、半島などと同様に冠詞の**the**がつく。 **ex. the strait of Hormuz** (ホルムズ海峡 --- ペルシャ湾入り口にある) **the (English) Channel** (イギリス海峡 --- イギリスとフランスの間にある)
2. **a meeting in Washington** : アメリカの国防総省(**the Pentagon**)で行われた。
2. **Director-General** : ハイフンはなくてもよい。「長官、局長」を意味する。日本の「閣僚」にあたるアメリカの「長官」は **secretary**
2. **and their US counterparts.....Donald Rumsfeld** : **Condoleezza Rice** は **Secretary of State** (国務長官 --- 外交も担当する)。 **Donald Rumsfeld** は **Defense Secretary** (国防長官) または **Secretary of Defense**
3. **the so-called two-plus-two talks** : 「2プラス2」と呼ばれ、前回は2002年12月に開かれた。
4. **as for...** : 「...はといえば、...に関しては」という意味で、ふつう文頭に来る。
4. **ease mounting tensions on the Taiwan Strait** : 台湾では、独立派 (**separatists**) の動きが活発になってきて中国は神経を尖らせている。
4. **China warned that ...** : 中国が昨年末に発表した国防白書の中で警告した。
4. **at any cost** : = **at all costs** (どんな犠牲を払っても、ぜひとも)
5. **The US will also transform its forces** : **transform** は「(外形、性質、機能などを) 変形させる」という意味から、ここでは「再編する」としている。アメリカは世界情勢の変化や国内の財政的事情から軍の再編を進めていて、在日アメリカ軍も例外ではない。

☆2月19日（土）に行われた日本とアメリカの外務・防衛担当閣僚による日米安保協議委員会では、今後の日米同盟と在日アメリカ軍再編の基本指針となる「共通戦略目標」が策定された。

9.11 以降、アメリカは本土防衛を重視し、海外では、同盟国の役割を拡大することでアメリカ軍の世界的展開を維持したいという考えに変化してきている。とりわけ、「アジア・太平洋の平和と安定のための支柱（ラムズフェルド長官）」とみる日本との同盟強化、在日アメリカ軍の再編は最重要との認識から、今回の話し合いがもたれた。

声明の中で、①北朝鮮の六カ国協議への早期・無条件復帰、核開発の完全廃棄 ②共通戦略目標として、(a)朝鮮半島の平和的統一、拉致問題を含む北朝鮮の諸問題の平和的解決 (b)中国の責任ある建設的役割を歓迎し、協力関係を発展 (c)台湾海峡問題を平和的に解決 ③自衛隊とアメリカ軍の役割と任務の見直しの継続 ④在日アメリカ軍の兵力見直し協議を強化などを発表した。

なかでも、台湾海峡問題に言及したのは初めてのことである。このことは、中国が軍事力を増強し、先の防衛白書の中で「台湾が独立を宣言したら、どんなことをしても台湾を潰す」といって武力行使を否定していない中国に対する日米の牽制ととらえられている。アメリカは「ひとつの中国」を認めてはいるものの、中国・台湾のどちら側からも現状を変更することは認めないという立場を強調している。

自衛隊と在日アメリカ軍の役割・任務・能力を見直して、在日アメリカ軍を再編しようとする目的は、テロや北朝鮮や台湾などをめぐる東アジアの不安定・不確実さに備えて、日本とアメリカが敏速かつ効果的に協力し対応できるようにすること。

軍を縮小するが抑止力は維持したいというアメリカと、沖縄の基地負担を少なくしたいという日本との話し合いを強化し、自衛隊と在日アメリカ軍の基地の共同利用や運用面での協力など「日米一体化」を進める。具体的にいえば、第5空軍司令部のある横田基地に航空自衛隊総司令部（府中市）を移す案、沖縄の海兵隊砲兵部隊を陸上自衛隊矢白別演習場（北海道）への移転する案などが浮上しているという。共有化は基地の人員の削減が期待でき、負担軽減につながるという考えだ。（SK）